

令和7年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	上志の風
事 業 名	山口県 宇部市 スポーツコミッションの取組について
事 業 区 分	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">①研究研修</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">②調 査</div> </div>

1 上田市での課題と研修・調査の目的

上田市は、2024年に「スポーツ都市宣言」をし、令和10年国民スポーツ大会の準備も進められています。しかし、現在、具体的な施策や施設の方向性、新しいスポーツイベントなどが見えてこない面があります。宇部市のスポーツコミッションのスポーツイベントの誘致や地域の皆さんとの連携、施設の活用などに取組んでいる。上田市もスポーツを通じて地域が活性化できる様、視察を行った。

2 実施概要

実施日時	視察先	山口県 宇部市
令和7年5月27日 10:00~11:30	担当部局	宇部市スポーツコミッション 事務局 観光スポーツ文化部 スポーツ振興課

報 告 内 容	<p>1 市の概要</p> <p>山口県西南部、瀬戸内海に面し、北部は中国山地の丘陵地帯で、厚東川河口付近に広がる平野部に市街地が広がる。市の中央部に山陽自動車道があり、宇部港は、重要港湾として機能し、本州最西端の空港として山口宇部空港が市街地近くにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口 15万5,174人 (令和7年6月現在) ・面積 286.65 km² <p>2 市の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇部炭鉱として炭鉱の町として発展し、化学・エネルギー産業の宇部興産(UBE)が誕生し、重化学工業が市の基幹となっている。現在、UBEを中心とした化学・セメント・エネルギー産業が強く、北九州工業地帯・瀬戸内工業地帯の一翼を担っている。 ・国内外から作品が集まる彫刻の祭典「UBE ビエンナーレ」が開催され、100点以上の彫刻が常設展示されている。市内は「彫刻と緑の公園都市」として整備されている。 ・保育・教育施設が整い、医療環境・子育て支援が充実。移住にも積極的に取組んでおり、「住みたい田舎ランキング」では、上位に選ばれている。
------------------	---

3 視察事項について

- ・一般社団法人宇部市スポーツコミッション

設立経緯 宇部市スポーツ推進計画 中期計画（平成 26 年策定）

4つの重点プロジェクト

- ① 地域スポーツの推進
- ② スポーツによる健康づくりの推進
- ③ 子ども元気創造授業の推進
- ④ スポーツコミッションの推進

平成 26 年 10 月 7 日 宇部市スポーツコミッション設立

平成 30 年 11 月 1 日 一般社団法人宇部市スポーツコミッション設立

会長 長谷亮佑（学識経験者） 理事 11 人

会員 スポーツ、医療・福祉、観光等の各分野の関係団体と民間事業者及び行政機関
（令和 7 年 4 月末現在 55 団体）

事務局 事務局長 1 人 プロパー 2 名

年間予算 37,318,000 円（令和 7 年度）

目的 年齢や性別、障害の有無等に関わらず、関心、目的等に応じてスポーツに参画する事ができる機会を創出し、市民の健康づくり、体力づくりを推進するとともに、スポーツを通じた交流人口の増加と地域活性化を推進し、「スポーツを楽しむ元気なひとの元気なまち・宇部市」の実現と「健康長寿のまちづくり」寄与すること。

事業 1, スポーツによる市民の健康増進・体力づくりに関する事業

スポーツコミッションフェスタ（年 1 回の大規模参加型イベント）

- ・恩田運動公園を会場に、家族向けスポーツ体験イベントを複数

プログラムで展開。ニュースポーツ、高齢者向けプログラムなど多彩な内容を実施。4,000 人規模の集客がある。

スポーツファンプロジェクト

- ・子どものスポーツへの関心を高めるとともに、健全育成を図るため地元のプロ選手やアスリートを講師に様々なスポーツの体験教室を実施

子どもスポーツ夢教室

- ・子どもたちがトップアスリートによる体験談などの講話や技術指導等を直接受ける授業を実施

2, スポーツによる交流の促進と地域活性化に関する事業

プロ・トップスポーツ等観戦応援・ふれあい事業

- ・本市をホームタウンとするプロ・トップスポーツ等の観戦応援企画や選手とのふれあい企画を実施

スポーツ大会・合宿誘致事業

- ・宇部市、宇部観光コンベンション協会、宇部市スポーツ協会が連携してスポーツ大会・合宿誘致を促進。

アーバンスポーツ運営業務

- ・スケートボード、3×3、ブレイキングなどアーバンスポーツ大会やイベントを実施。

スポーツヘルスツーリズム

3, スポーツによる共生社会の形成に関する事業

パラスポーツ理解促進事業

パラアスリート交流事業

- ・パラリンピアン・パラアスリートを招致し、市内の小中学校で授業として、講演及び体験会などを実施。

4, スポーツ・健康分野の活動を担う人材育成及び確保に関する事業

会員及び人財バンク登録者の活用

今後の方向性 → 新スポーツ協会の立ち上げ (2026年4月予定)

現状 スポーツコミッション

- ・市民の健康増進、体力づくり
- ・交流促進、地域活性化

新スポーツ協会の立ち上げメリット

- ・組織力の強化
- ・効率的・効果的な事務・事業の展開
- ・スポーツ振興と地域活性化の充実

スポーツ協会

- ・スポーツ施設の管理運営
- ・競技団体の支援
- ・スポーツ教室の運営

現状と課題への取組

- ・ イベントの開催には、人気がありすぐに埋まるが、市民の参加が多く、市外からの集客があまり増えていない。→市外へのイベントの発信
- ・ 合宿誘致に関して、一昨年は補助金を出して3件。去年はパンフレット作成後9件と3倍に増加。しかし、9件すべて市の施設を利用しているが、宿泊は宇部市外になっている。市内の宿泊施設の充実が求められる。
- ・ 広報手段として、2025年4月から、小・中学校では紙媒体を廃止し、親のスマホにPDF等でお知らせが届く様に変更。→親が情報を見ても忙しさ等で判断し、子どもの意向が繁栄されにくくなった。→幼稚園、保育園向けには冊子配布を継続し、親への情報伝達を強化
- ・ 人材バンク制度を活用し、スポーツ経験者や専門職の方で登録者は30名を超えているが、指導者不足は顕著で、全てのクラブ活動をカバーできていない



感想・市政に活かせること

- ・宇部市のスポーツコミッションは、前市長の強い思いからスタートしました。その思いを受けて、設立準備委員会では多様な分野の意見を集め、健康増進や交流人口の拡大につながる事業が議論されました。実際の立ち上げは、会長の長谷氏が中心となり、熱意を持って推進しています。上田市も「スポーツ都市宣言」を掲げています。市長自身が強い思いを持ち、行政と、専門知識を持つ外部組織（スポーツコミッションなど）が一体となって進める体制をつくることが重要です。スポーツを通じて「健幸都市うえだ」を実現するため、宣言を具体的な施策に結びつけていくことを期待します。
- ・宇部市のスポーツコミッションは、目的と事業内容が明確です。そのため、成果を分析し、課題を洗い出しながら、次のチャレンジへとつなげる体制ができています。これは非常に重要なポイントで、組織の活性化と継続的な成長に不可欠です。
- ・宇部市では、事務局の3名の職員がイベント企画を中心となって進め、市やスポーツ協会と連携しています。基本的には自ら企画・運営を行い、必要に応じて役員からの提言も取り入れています。上田市でも、専門性の高い人材が力を発揮できる環境づくりが必要です。行政の縦割りを越えた連携体制を築き、スポーツ協会とも明確な役割分担をすることで、より効果的なスポーツ振興が可能になると考えます。
- ・スポーツ振興には、イベント運営、広報活動、施設の整備・維持など、相応の財源が必要です。市として多くの課題を抱える中、スポーツへの予算を確保するには、市長の覚悟とリーダーシップが欠かせません。上田市が掲げる「スポーツ都市宣言」を形にするためには、情熱と仕組みづくり、そして関係機関との連携が鍵となります。宇部市の先進的な取り組みを参考にしながら、上田市ならではのスポーツ施策を展開していくことを期待します。

